

## 第70回・71回総会報告

### 2022年度事業計画・収支予算、 2021年度事業報告・収支決算、新役員のご紹介

2022年3月の総会では2022年度事業計画・収支予算が、6月の総会では2021年度事業報告・収支決算・新役員が会員の皆さまに承認されました。本稿では、それぞれの概要についてご紹介します。

#### 第70回JPNIC臨時総会(2022年事業計画・収支予算)<sup>※1</sup>

#### ● 2022年度事業計画 ●

##### JPNIC全体に 関わる事項

前年度からの大きな変更はありませんが、2021年度に検討を行ったJPNICの理念を踏まえ、より中長期的な視点も交え取り組んでまいります。

- 理事と職員が一体感を持って職務を遂行し、組織の活性化や人的資源配分の見直し、中長期的な視点からの設備投資の検討を行います。
- 本年2022年1月に移転した新オフィスの有効活用を含め、業務運営のさらなる効率化に努めます。

##### IPアドレス事業

- さらなる業務の電子化を進めるとともに、電子証明書を用いたユーザー認証に関して、方式の見直しについて検討を行います。
- JPNIC独自のIPv4アドレス在庫からの分配の可能性についても検討および調整を進めます。
- JPNIC文書体系を刷新して、わかりやすい文書内容と体系に改めます。
- IPレジストリシステムの抜本的な見直しについて、計画立案に繋げていきます。
- ROA登録を促す活動を継続・拡大していきます。

##### インターネット 基盤整備事業

- インターネットの動向や社会的課題への対応に向け情報収集をし、受け取り手を意識した探しやすい利用しやすい情報提供に注力します。
- オンラインに加え、オンデマンドコンテンツの提供を拡充し、Internet Weekの次期構想に向けた取り組みやセキュリティ技術のさらなる普及に取り組みます。
- 情報通信ネットワークアーキテクチャに関する調査研究に引き続き取り組んでいきます。
- インターネットガバナンスについて、政府やビジネスセクターを交えた推進体制の機構化に取り組み、活動の輪を広げていきます。

#### ● 2022年度収支予算 ●

収支はほぼ均衡で、2022年度予算と前年度予算の比較は次の通りです。経常費用の減は、主にオフィス移転による経費削減効果によるものです。

経常収益予算	511,170,000円 (前年度比 -1,300,000円)	当期経常増減額	710,000円 (前年度比 +28,940,000円)
経常費用予算	510,460,000円 (前年度比 -30,240,000円)	正味財産期末残高	2,097,300,000円 (前年度比 +640,000円)

会員の皆さまにお諮りした結果、2022年度事業計画、2022年度収支予算とも、上記の内容にて承認可決されました。



# 第71回JPNIC通常総会(2021年事業報告・収支決算、新役員選任)※2

ここでは2021年度に実施した事業の内容に関して、ポイントとなる点を列挙する形で記載します。  
事業報告書では、グラフや写真を織り交ぜつつ読みやすくまとめているので、総会資料も併せてぜひご覧ください。

## ● 2021年度事業報告 ●

### JPNIC全体に関わる事項

- 安定的な法人運営を行い、総会2回、理事会6回、評議委員会2回を開催しました。また、2組織に入会いただき、2022年3月末現在の会員数合計は178となりました。
- IPアドレス維持料と会費請求、総会の事前の議決権行使を電子化し、内神田OSビルへのオフィス移転等、一層の合理化・効率化に取り組みました。

### IPアドレス事業

- 請求関連すべての電子化を完了し請求業務全体の効率化を実現しました。また、書面による契約廃止と電子署名を用いた契約手続きへの移行準備を行いました(2022年5月16日から施行開始)。移転申請に関しても、手続文書の簡素化準備を進めています(今年度の改定を計画)。
- サービスおよびサポート向上に向けて、満足度調査を行いました。ご意見を踏まえて、改善を進めています。
- 連絡が取れないPIアドレス割り当て先組織への確認作業を進め、IPv4アドレス在庫の明確化を進めていきます。
- 日本国内のIPv6接続サービスの進展状況などについて、さまざまなチャンネルを通じて積極的な情報提供を行いました。
- RPKIサービスのWebユーザーインターフェースやシステムの改修/改良を実施すると同時に、利用拡大に向けたサービス全体の向上に努めつつ、連携強化をめざしてAPNICやNIRとの情報交換に取り組みました。
- ポリシー提案に関する情報提供やミーティング開催など、日本のコミュニティメンバーにポリシー議論への参加を促す取り組みを行いました。
- WHOISのネットワーク情報への[Abuse]項目の追加に関する開発計画を立て、初年度の開発を実施しました。

### インターネット基盤整備事業

- 感染症禍の影響を受ける中でオンラインによる情報提供に注力し、SNSによる情報発信や会報誌の電子書籍版公開に取り組みました。
- 技術セミナーの座学や、Internet Weekの中で基礎的な内容を伝えるレクチャーのオンデマンド化、過去の講義資料のデジタルアーカイブ化を進めました。
- フロンティアにインターネットとその未来を聞く「JPNICTークラウンジ」の配信シリーズを開始しました。
- DNSの不正利用に関するICANNの政策に関する解説等の情報提供を行いました。
- 情報ネットワークアーキテクチャー標準化の動向調査に関する調査研究を受託し、関連した勉強会の開催や、動画配信・アーカイブなど、普及啓発にも努めました。
- IGF2021会議の議論テーマの分析についての調査研究を受託、実施しました。
- 国内IGF活動活性化チームとして、国内IGF活動の活性化に向けた検討やイベントを実施しました。

## ● 2021年度収支決算 ●

経常収益の増は、追加の受託研究契約や円安による投資資産からの収入増、保有株式の配当増加によるものです。  
一方、経常費用の増はオフィス移転による一時費用と円安に伴うAPNICへの支払い増、新規採用によるものです。

経常収益	580,682,088円 (前年度比 +19,691,359円)	経常増減額	61,537,122円 (前年度比 -43,999,874円)
経常費用	525,450,727円 (前年度比 +20,084,933円)	正味財産期末残高	2,129,136,400円 (前年度比 +29,794,804円)

会員の皆さまにお諮りした結果、2021年度事業報告、2021年度収支決算とも、上記の内容にて承認可決されました。

## ● 新役員選任 ●

第71回JPNIC総会では役員改選も行われ、理事20名、監事3名が選出されました。それに続いて行われた第149回理事会で、新しい理事長に江崎浩が選出され、曽根秀昭、野村純一の両副理事長を加えた代表理事のもとで、新体制が発足しました。

### 新理事長となった江崎から読者の皆さまへのご挨拶

2004年に初めて理事を拝命し、このたび理事長を拝命させていただきました。インターネットの重要性はこの度のウクライナ侵攻でも深く認識され、今後の社会・産業活動の最重要インフラとして、これまで以上に責任ある運用の実現・継続が期待されています。JPNICの役割はグローバルにも大きく、重要でございますので、理事の皆さま、会員の皆さま、さらに、皆さまの関係者様と一緒に、今後のインターネットと世界の発展に寄与・貢献できればと思っています。引き続きかつ益々の皆さまのご支援・ご協力の方、どうぞよろしくお願いいたします。

また、担当理事設置分野として、JPNICの理念に基づく戦略課題で該当分野の取り組みを検討するために、「技術的課題」と「社会的課題」という分野が加わりました。JPNICとしては、この新しい体制下で、事業を行ってまいります。江崎を含む、選任された役員の一覧とそれぞれの役割については次ページの「新役員紹介」をご覧ください。



# 新役員のご紹介

役職順に50音順、氏名の下は所属、中段は社内はJPNIC内での分担、下段はこれからの2年に向けての抱負

(役員の写真は2022年6月13日時点のものです)

## 副理事長(代表理事)

理事会  
推薦



### 野村 純一

株式会社ゲンザイ  
代表取締役

執行理事・人事委員会委員・BCM委員会委員・情報セキュリティ委員会委員・  
認証局運営委員会委員・評議委員会担当理事

インターネットとJPNICを取り巻く社会環境は変化を続けていることに鑑みて、JPNICが自らを変革していくことに力を尽くす所存です。言い換えれば、再設定したJPNICの理念に基づく活動を具現化・実践していきます。

## 常務理事

理事会  
推薦



### 藤崎 智宏

エヌティティ・コミュニケーションズ株式会社  
情報セキュリティ部サイバーセキュリティ部門  
第一グループ担当部長

執行理事・人事委員会委員・  
認証局運営委員会委員・分野担当(IPポリシー)

「新しい生活様式」を支えるため、社会のDX推進のために、インターネットは必要不可欠なインフラとなっています。インターネットの維持、今後の健全な発展に、JPNICとして貢献していければと考えております。

## 理事

理事会  
推薦



### 浅井 大史

株式会社  
Preferred Networks  
リサーチャー

分野担当(技術的課題)

インターネットが社会基盤としての重要な役割を担う中で、その運用から見えてきた技術課題も数多くあります。このような課題を整理し、解決に向けて取り組むことで、グローバルなインターネットの維持発展に貢献したいと考えております。

## 理事長(代表理事)

理事会  
推薦



### 江崎 浩

東京大学 大学院  
情報理工学系研究科  
教授

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・  
分野担当(グローバル)

インターネットの存在が前提であることを全世界が認識するとともに、The Internetの堅持がJPNICの使命であると再認識しています。さらに、The Internetを堅持するために、健康なインターネットの実現に向けた役割をJPNICは果たさなければならないと考えています。

## 副理事長(代表理事)

理事会  
推薦



### 曾根 秀昭

東北大学  
データシナジー創生機構  
特任教授

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・  
分野担当(DRP)

JPDメイン名の紛争処理方針の分野では手続き連絡の電子化や多言語対応が検討委員会のご協力を実現しましたが、引き続き実施事例の分析を継続し普及と研修への取り組みも大切と考えます。

## 常務理事

理事会  
推薦



### 宇井 隆晴

株式会社  
日本レジストリサービス  
取締役 企画本部長

認証局運営委員会委員長・  
分野担当(技術的課題)

インターネットを前提とした社会の健全な進化のため、技術の普及発展、基盤の安定はもちろんのこと、新しい価値の創出、社会課題の解決など、コミュニティを繋ぐJPNICという立場だからこそその関わり方で貢献していきたいと思っております。

## 常務理事

理事会  
推薦



### 長谷部 克幸

日本電信電話株式会社  
技術企画部門  
担当部長

執行理事・人事委員会委員・BCM委員会委員・  
認証局運営委員会委員・分野担当(ドメイン名)

世の中が急激に変化する中、JPNICはJNICの設立から30年を迎え、理念を再設定しました。「情報」を強みとした活動を中心とし、グローバルな視点と責任を踏まえて、情報の収集、管理、共有、発信といったJPNICらしきに加え、社会的課題等への取り組みを強化するなど、理念および中期計画の実現に向けて邁進していきます。

## 常務理事

理事会  
推薦



### 松崎 吉伸

株式会社インターネットイニシアティブ  
基盤エンジニアリング本部 運用技術部  
技術開発課

執行理事・人事委員会委員・認証局運営委員会委員・  
分野担当(IPポリシー、IPv6推進、グローバル)

グローバルなインターネットを支える要素として、多様なコミュニティが挙げられます。JPNICがそうしたコミュニティと連携しながら、インターネットの発展に寄与するよう貢献していきたいと考えています。

## 常務理事

理事会  
推薦



### 三膳 孝通

株式会社  
インターネットイニシアティブ  
技術主幹

執行理事・人事委員会委員・BCM委員会委員・  
情報セキュリティ委員会委員長・認証局運営委員会委員

再設定した理念の具体的な実現を行うとともに、レジストリシステムのライフサイクルの確立、および更改を進めていく所存です。

## 理事

会員  
推薦



### 岩谷 理恵

株式会社  
日本レジストリサービス  
総務本部 本部長

資産運用委員会委員

リモートでの勤務が当たり前となり、インターネットは社会的インフラとしてより一層重要とされています。人々が安心してインターネットを利用できるよう、何が出来るか、何をすべきかを考えながら貢献していきたいと思っております。

## 理事

理事会  
推薦



### 荻野 司

一般社団法人  
重要生活機器連携セキュリティ協議会  
代表理事

分野担当(社会的課題)

サイバー空間におけるセキュリティに関する課題は、JPNICとして国内外に向けて貢献できることが数多くあります。JPNICの理念である、「グローバルな視点と責任を踏まえて」新たな社会的課題へも取り組んでいければと考えております。

理事



金井 俊夫

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社  
取締役 執行役員 経営企画部長

理事会  
推薦

資産運用委員会委員

コロナ禍の社会をインターネットが支えたことは言うまでもなく、オープンなインターネット上で自由に発信できることが民主主義の根幹となっていることを昨今の世界情勢の中で強く感じます。インターネットの健全な発展に貢献してまいりたいと存じます。

理事



後藤 滋樹

早稲田大学  
名誉教授

理事会  
推薦

分野担当(社会的課題)

世界中でデジタル化(DX)が進行中です。その根幹を成すソフトウェア技術は今でも人間を頼りにしています。この中心部に残るアナログ要素を、いかにデジタル化できるでしょうか。本質的な課題が残されています。

理事



関谷 勇司

東京大学 大学院  
情報理工学系研究科  
教授

理事会  
推薦

分野担当(セキュリティ)

今までIPv6やDNS、サイバーセキュリティを通じてインターネットの世界に関わってきました。今後ともインターネットの世界がグローバルに発展できるように関わっていききたいと思います。

理事



鶴 昭博

日本ネットワークイネブラー株式会社  
代表取締役社長

理事会  
推薦

資産運用委員会委員

インターネットは、さまざまな産業分野におけるDXを支えるネットワーク基盤として利用拡大が期待されています。インターネットの持続的発展に向けた諸課題に対処するべくJPNICの活動を通して貢献したいと思います。

理事



中西 貴裕

岩手大学  
情報基盤センター  
准教授

会員  
推薦

分野担当(非営利・地域)

広く全国にいらっしゃる、指定事業者やPIアドレスホルダーの皆さまと繋がり共に取り組んでいけるよう、地域の皆さまへ向けた情報提供や、ご意見をうかがえる議論・交流の場の提供に努めてまいりたいと思います。

理事



中村 素典

京都大学  
情報環境機構  
教授

理事会  
推薦

分野担当(セキュリティ)

オープンサイエンスや小中高でのネットワーク活用に向けた環境整備が進められていますが、そのような分野を含め、インターネットにおける認証やセキュリティ対策の課題について取り組んでいきたいと思っています。

理事



橋川 和利

ケーブルテレビ徳島株式会社  
技術本部 技術部

会員  
推薦

分野担当(非営利・地域)

デジタルの発展とインターネットの利活用により、新たな課題が生じています。会員様をはじめコミュニティの皆さまと一緒に考えて、健全な運営に尽力してまいります。

理事



馬場 聡

北海道総合通信網株式会社  
執行役員  
企画部部長

会員  
推薦

分野担当(社会的課題)

世界情勢が激変し、インターネットの重要性が再認識されています。そのような状況下で、JPNICの理念に基づき、JPNICとして何ができるのか、何をすべきか、会員、ステークホルダーの皆さまと考えていきたいと思っています。

理事



穂坂 俊之

株式会社QTnet  
執行役員  
経営戦略本部 経営企画部長

会員  
推薦

分野担当(非営利・地域)

「デジタル技術を使って、地方と都市の差を縮める」と語られるように、地域間格差は変わらぬ課題として認識されています。インターネットに関わる場所ではこの課題を少しでも解決すべく、地方ができることを模索していきたいと思っています。

監事



青木 邦哲

株式会社ASJ  
専務取締役  
最高執行責任者

理事会  
推薦

人事委員会委員

戦争やコロナ禍によりインターネットの利用方法が大きく変化してきました。JPNICは新たな課題にも積極的に取り組むことになると思います。毎週行われている執行理事会には参加し、監事としての役割をしっかり果たしていきたいと考えています。

監事



高田 寛

株式会社まほろば工房  
取締役  
最高技術責任者

理事会  
推薦

理事を5期10年にわたって拝命しておりましたが、今回理事会推薦によって監事の任を賜るようになりました。立場は少々変わりますが、今後ともインターネットの発展に取り組んでいきたいと思っています。

監事



高宮 展樹

ビッグロップ株式会社  
執行役員 基盤本部 副本部長

理事会  
推薦

アフターコロナ下においてますます重要性を高める、より快適でより安全なインターネットの普及に、微力ながら貢献するとともに、監事としてJPNICの健全性の担保に努めてまいります。